



人の絆

理事長 森 勉

新型コロナウイルスの感染拡大により国による英霊の慰霊に関する各種行事、自衛隊及び各駐屯地・部隊の創立記念・追悼行事が規模の縮小あるいは中止を余儀なくされた。また、地域社会においても各地の花火や盆踊りなどの夏祭りを含む冠婚葬祭も同様で、結婚式が延期されたり葬儀が身内だけで行われることが多くなっている。人の絆はまず親子兄弟等の血縁者、次いで向こう三軒両隣をはじめとする同郷者そして学校・職場・趣味の仲間等の関係者の間に出来るものであるが、この様な社会活動の縮小は人の絆を不確かなものにしていく。私は毎年、熊本県健軍駐屯地の西部方面隊、北海道東千歳駐屯地の第7師団、新潟県新発田駐屯地の第30普通科連隊の創立記念行事に妻と二人で参加させていただき、地域社会の人達と七夕のように年に一度だけ再会し、往時を偲び絆を確かめ、現役隊員の元氣な姿に接し目を潤ませている。新発田駐屯地では、連隊本部前にある殉職隊員慰霊碑に向かい首を垂れることを習わしとしているが、今年は何れも中止となり寂しく残念な気持ちでいっぱいである。

人類史上ウイルス等のパンデミックが度々あったにも拘らず、今回は準備が殆どなく突然平時から非常時になり様々な問題が提起された。国防や自然災害に対しては十分ではないかも知れないが、国・地域社会として対処計画があり、訓練が定期的の実施され、各種の資源が備蓄されている。今回は国民のマスクが不足したのはまだしも、医療従事者のマスクや防護服が不足し悲鳴が上がり、医療崩壊が危惧され、感染の疑いのある人達の検査要領が不明確・不十分であり、国や自治体が強制力を持って感染防止対策を実行できず、要請に止まった。

人間の最悪の天敵は人間であり種の保存以外で同種が殺し合う「戦争」、地震・津波・台風・洪水・火山の噴火等の神の怒りともいえるべき「自然災害」、そしてペスト・天然痘・コロナウイルス等古来より継続して襲いかかる見えざる最強の天敵による「パンデミック」の被害は凄惨なものであり、更にこれらによる畏怖と恐怖等によつて起きる誹謗中傷、差別、虐待、殺戮等は言語に絶する悲惨なものである。これらを克服できる唯一の道は、血縁、地縁、各種の社会活動等により日常の生活の中で人の絆を確かなものにする事であるが、人の絆は一朝一夕にして出来上がるものではなく、いわんや非常事態を想定しない人の絆は砂上の楼閣に等しい事を銘記すべきである。